

保護者各位

山形市立山寺小中学校

校長 武田 裕子

## 学校評価アンケートについて（お礼とご報告）

春寒の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、この度、保護者の皆様にご協力いただきましたアンケートの結果がまとまりましたので、集計結果の概要と学校側の分析、今後の改善策についてご報告いたします。

※数値は、4段階のうち3と4を選択した人の割合（%）

4：よくあてはまる 3：あてはまる 2：少しあてはまらない 1：あてはまらない

### 1 考える子ども（確かな学力）

	質問項目	児童	生徒	教師	保護者
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で、読書の大切さを学ぶことができる（児童）</li> <li>・先生は、読書の大切さを教えてくれる（生徒）</li> <li>・教職員は、本を読むことの大切さを子ども達に伝えたり、読み聞かせや読書に取り組む時間を設けたりしている（教員）</li> <li>・子どもは、家でよく本を読む（保護者）</li> </ul>	88.5%	91.7%	100.0%	44.8%
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、すすんでかだいにとりくんでいる。（おうちの人や先生にいわれる前に）（児童）</li> <li>・私は、授業で出された課題の解決に向けて、自分で考えたり、自分から進んで取り組んだりしている（生徒）</li> <li>・授業において、児童生徒が課題の解決に向けて、自分で考え取り組むことができるよう指導している（教員）</li> <li>・子どもは、調べたいことや知りたいことがあると、自分から進んで資料や情報を集めたりしている（保護者）</li> </ul>	96.2%	66.7%	84.6%	82.8%
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、クラスの友だちといっしょにべんきょうするのがすきだ（児童）</li> <li>・私は、授業において、友達のような考えを聞いて自分の考えを深めたり、新しい考えに気付いたりしている（生徒）</li> <li>・授業において、児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行っている（教員）</li> </ul>	96.2%	91.7%	92.3%	—
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、しゅくだいにきちんととりくんでいる（児童）</li> <li>・私は、家庭での学習方法について学校で学んだことを活かしている（生徒）</li> <li>・家庭での学習方法について具体例を挙げながら指導を行っている（教員）</li> <li>・子どもは、学習や休日の過ごし方について計画を立てて進めている（保護者）</li> </ul>	92.3%	83.3%	92.3%	44.8%
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしには、したいことややりたいものがある（児童）</li> <li>・私は、夢や目標をもっている。（生徒）</li> <li>・将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている（教員）</li> <li>・子どもは、自分の夢や目標に向かって生活や勉強の仕方を工夫している（保護者）</li> </ul>	92.3%	66.7%	76.9%	62.1%

## 成果

- (1)主体的な学習意欲：児童の「すすんで課題に取り組んでいる」意識は96.2%と非常に高く、授業における多様な考えを聞く姿勢（児童96.2%、生徒91.7%）も定着しており、「考える子ども」の育成が進んでいます。
- (2)読書への取り組み：教職員が読書活動を重視しており、児童の読書への高い意識（88.5%）につながったと考えられます。

## 課題

- (1)家庭での読書と学習：保護者の「子どもは家でよく本を読む」（44.8%）、「学習計画を立てている」（44.8%）への回答が低い状況でした。今後は、学校と家庭がより連携しながら、授業とつながる家庭学習の進め方を具体的に伝えていきます。また、日々の読書習慣が学力の基盤となることを踏まえ、読書の大切さについても継続して指導してまいります。ご家庭でも、学習計画づくりや読書の時間確保にご協力いただければ幸いです。
- (2)生徒の自律性：中学生が「自分で考え、主体的に取り組む力」を育てるためには、学習を自分で調整しながら進める力（自己調整力）を伸ばす取り組みがますます重要になります。そのため、日々の授業を振り返りながら改善し、生徒一人ひとりが自分で目標を立て、学習後に振り返る習慣を身に付けられるよう、学校全体で取り組んでまいります。
- (3)夢や目標：「夢や目標に向かって生活しているか」について、小学校が全国平均（83.1%）を上回る92.3%でしたが、中学校は全国平均（67.7%）とほぼ同じ66.7%でした。今後もキャリア教育や進路指導をさらに充実させ、子どもたちが自分の「やりたいこと」や「夢」を見つけられるよう支援してまいります。

## 2 助けあう子ども（豊かな心）

	質問項目	児童	生徒	教師	保護者
1	・私は、いじめはどんな理由があってもいけないことだと考え、いじめをなくしていこうとしている	96.2%	100.0%	100.0%	100.0%
2	・私は、自分には良いところがあると思う(児童・生徒)	92.3%	83.3%	100.0%	86.2%
3	・わたしは、かぞくやちいきの人、先生や友だちに、元気よくあいさつをしている(児童) ・私は、かぞくや地域の人、先生や友だちに、さわやかにあいさつをしている(生徒) ・児童・生徒・地域の人にきちんとあいさつするよう声をかけている(教員) ・子どもは、家族や地域の人にきちんとあいさつをしている(保護者)	88.5%	50.0%	100.0%	89.7%
4	・私は、地域の行事などに参加している(児童・生徒) ・子どもは、地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったり一緒にお祭りなどに取り組んだりしている(保護者)	76.9%	42.9%	92.3%	62.1%

## 成果

- (1)いじめ防止意識：児童・生徒・教員・保護者の全員が「いじめはいけないこと」と回答しており、学校全体の共通理解として強く根付いています。
- (2)自己肯定感：児童・生徒ともに自己肯定感が高く（児童92.3%、生徒83.3%）、互いの良さを認め合う土壌が育っています。

## 課題

- (1)生徒のあいさつ習慣：児童のあいさつ意識は高いものの、生徒の「さわやかにあいさつをしている」意識（50.0%）に課題があります。児童会・生徒会を中心とした「あいさつ運動」の活性化や、あいさつの意義を授業等で共有し、自発的な習慣化を図ります。
- (2)地域とのつながり：地域行事への生徒の参加意識（42.9%）が低く、「郷土愛の育成とつなぐ伝統」という観点から、中学生が地域と関わる機会や動機付けの工夫が必要です。また、地域との交流や対話を意識的に設定し、地域参画への意欲を高めてまいります。

### 3 たくましい子ども（健やかな体）

	質問項目	児童	生徒	教師	保護者
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、メディア（ゲームやインターネットなど）のやくそくをまもっている（児童）</li> <li>・私は、携帯電話・スマートフォン等のSNSの使い方について、家の人との約束を守って使っている（生徒）</li> <li>・携帯電話・スマートフォン等の、SNSの使い方やメディアリテラシーについて指導している（教員）</li> <li>・子どもは、携帯電話・スマートフォン等の、コンピュータの使い方について、家の人との約束を守っている（保護者）</li> </ul>	76.9%	91.7%	100.0%	82.8%
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、こまったときには、先生や友だちにそうだんしている（児童）</li> <li>・私は、困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できる（生徒）</li> <li>・困りごとや不安があるときに、先生や学校に相談できることを伝え、相談に応じている（教員）</li> <li>・子どもは、困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談している（保護者）</li> </ul>	80.8%	75.0%	100.0%	62.1%
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、いろいろな人の考えをきくのがすきである（児童）</li> <li>・私は、自分と違う意見について考えることの楽しさを、授業で感じている（生徒）</li> <li>・子どもは、自分と違う意見について考えることを楽しいと思っている（保護者）</li> </ul>	88.5%	91.7%	92.3%	55.2%
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、かぞくや地域の人、先生や友だちに、さわやかにあいさつをしている（生徒）</li> </ul>	88.5%	50.0%	100.0%	89.7%
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、むずかしそうなことにも取り組もうとしている（児童）</li> <li>・私は、自分で決めたことを、やり遂げるよう努力している（生徒）</li> <li>・授業において児童生徒が自分で決定したことを、やり遂げるように支援している（教員）</li> <li>・子どもは、自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている（保護者）</li> </ul>	96.2%	91.7%	100.0%	86.2%
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、にがてなことにもあきらめずに挑戦している（児童）</li> <li>・私は、難しい（好きでない、苦手な）ことでも失敗を恐れず挑戦している（生徒）</li> <li>・難しい（好きでない、苦手な）ことでも失敗を恐れず挑戦するよう支援している（教員）</li> <li>・子どもは、難しい（好きでない、苦手な）ことでも失敗を恐れず挑戦している（保護者）</li> </ul>	92.3%	58.3%	100.0%	51.7%

#### 成果

(1)やり遂げる意志: 自分で決めたことを最後までやり遂げようとする姿勢が育っています。7月の調査結果（小 89.7%、中 81.9%）からもさらに伸びており、2学期の挑戦的な活動が自信につながったと考えられます。

(2)困りごとや不安の解決: 困りごとがあるときに相談できるかについて、小学校の全国平均 70.6%に対し、7月は 69.0%でしたが、12月は 80.8%に上昇しました。今後も相談機能の充実と、保護者との情報共有を進めてまいります。

#### 課題

(1)多様な他者の受容: 児童生徒は「自分と違う意見について考えることが楽しい」と回答している一方、保護者の評価は低い結果でした。今後も、多様な価値を理解し折り合いをつける重要性を伝えながら、保護者との連携を進めてまいります。

(2)失敗を恐れず挑戦: 「好きではないことへの挑戦」について、生徒と保護者の評価が低い結果でした。挑戦することの価値を実感できるよう、できたことを認める声かけや、挑戦の過程を褒めるなど、家庭と学校が連携して自己肯定感を育ててまいります。

#### 4 山寺小中学校について

	質問項目	児童	生徒	教師	保護者
1	・学校(がっこう)には楽しみにしていることがある(児童・生徒) ・学校は、小中併設や地域の特色を活かす魅力あるカリキュラムを作っている(教員) ・学校は、小中併設や地域の特色を活かす魅力あるカリキュラム(教育計画)を作っている(保護者)	92.3%	83.3%	100.0%	100.0%
2	・私は、毎日の生活で幸せな気持ちになることがある(児童・生徒)	96.2%	91.7%	—	—
3	・先生は、毎日の授業の大切さを教えてくれる(児童・生徒) ・日々の授業の大切さを児童生徒が実感できるよう、自己調整力を育む授業づくりについて教職員で検討している(教員) ・学校は、日々の授業の大切さを子どもが実感できるよう子どもの頑張りを認めている(保護者)	96.2%	100.0%	92.3%	86.2%
4	・先生は、わかりやすく教えてくれる(児童) ・先生は、わからないことをわかるように教えてくれる(生徒) ・学校は、児童・生徒の「わからない」を大切に、一人ひとりに寄り添った授業づくりに取り組んでいる(教員) ・学校は、わからないことを解決できるよう一人ひとりに寄り添った授業づくりに努めている(保護者)	92.3%	100.0%	100.0%	89.7%
5	・学校の授業(じゅぎょう)を通して、山寺のことをよく知ることができている(児童) ・学校の授業を通して、山寺の歴史や良さをよく知ることができている(生徒) ・学校は、地域や社会をよくするために何をすべきかを考える場面をつくっている(教員) ・子どもは、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている(保護者)	96.2%	91.7%	100.0%	65.5%
6	・山寺小中学校では、小中学生が協力して活動している(児童) ・先生は、保護者や地域の人と一緒に、体験学習、交流学习、探究学習など、楽しい授業をしてくれる(生徒) ・学校は、家庭・地域と連携し、児童生徒や保護者の負担軽減を考慮した働き方改革をすすめ、授業の充実をめざしている(教員) ・学校は、家庭・地域と連携し、児童生徒や保護者の負担軽減を考慮した働き方改革をすすめ、授業の充実をめざしている(保護者)	96.2%	91.7%	100.0%	86.2%
7	・先生は、私のよさを認めさらに伸ばそうとしてくれる(児童・生徒) ・学校は、子どもの良さを認め、励ましながら、さらに伸ばそうと努めている(教員) ・学校は、子どもの良さを認めながら、さらに伸ばそうと努めている(保護者)	100.0%	100.0%	100.0%	93.1%

#### 成果

(1)魅力ある学校作り：「学校には楽しみにしていることがある」について、小学校は7月の68.9%から12月には92.3%へと大きく上昇しました。ほとんどの項目で満足度が高く、引き続き学ぶ喜びや成長を実感できる学校づくりに努めてまいります。

#### 課題

(1)地域貢献：授業を通して山寺のことをよく知ることはできているものの、保護者の方の評価は低く、学びが実際の地域への具体的な貢献行動に結びついてないと考えられます。学校の学びを積極的に発信し、保護者の皆様と連携しながら地域に貢献ができる児童・生徒の育成に努めてまいります。

以上のとおり、保護者の皆様の多大なるご理解とご協力を得て、今年度も子どもたちにとって充実した学校づくりを進めることができました。心より感謝申し上げます。

今後も、皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、教職員一同、より良い学校づくりに努めてまいります。詳細な集計データにつきましては、[学校ホームページのリンク等]に掲載しておりますので、併せてご覧ください。